



『地域探究活動』

校長 福田 雅子

本校が今年度から取り組んでいるアイランド・チャレンジ事業の幾つかのプログラムから、今回は表題の「地域探究活動」についてご紹介いたします。

各学年でテーマを決め、小値賀の魅力や問題点を見出し、現状把握、原因分析、解決策の提案を目標に実施しています。最終的には3年生の卒業レポートで議会への提案を目指すのですが、先日長崎県立大学地域連携センターの中島洋特任教授にお越しいただき、この探究活動の研究手法や研究内容について、学年ごとの講義と、生徒たちへ直接指導・助言をいただきました。中島先生は長崎県立大学の「しまなび」プログラムを担当なさっていて、小値賀にたびたび来島しておられます。

まず、**1年生**は現在「ふるさと小値賀をPRする動画を作ろう」というテーマで取り組んでいます。小値賀の魅力や課題を発見し、外部に発信することで地域へ貢献するとともに、2年生での国際交流（予定）、3年生での議会提案の準備とすることを目的としています。また**2年生**は、1年生からの取組を活かしながらさらに深い研究へとつなげていこうということで、地方創生政策アイデアコンテストなど各種コンテストへの応募も目標にしています。そして、最後に**3年生**は、12月に迫る議会への提案に向けて3つの班に分かれ調査・研究中です。

各学年のグループごとにも細やかにアドバイスをいただきましたが、それぞれの講義の最後に共通して、中島先生から次のようなお話がありました。

「まず第一に楽しみながらやろう！大事なのは、『島ばどがなかしたか』って気持ち、『島が好き』って気持ち。小値賀をどうにかしたいという気持ちがベースだ。難しいことやカッコイイことを言えば評価されるわけではない。将来島を出たときに、自分の意見を堂々と言える人になるように、訓練しよう。第二に提案の説明だけでは人は動かない。調査研究の中に、**高校生の自分たちにできることは何か**を考え、私たち高校生はこうやってみます、とすることが必要だ。せっかくするんだったら、良くしていくために自分たちができることを考えて入れなさい。皆さんは外の人ではない、町民の一人だ。君たちが動くということは町民、特に若い人が動いているということで、そうすると周りの人も巻き込むことができる。」また、「まだまだ大人しい！皆さんは礼儀正しくて素晴らしいが、グループの人に遠慮してはダメ。他人任せではなく自分事として考えないといけない。もっと活発に話そう。」

今回は、大学の専門の先生に直接アドバイスをいただける貴重な機会でしたが、3年生の講義では、中島先生の「自分たちが住む小値賀をどうにかしたいと思う人？」という質問に、全員が挙手しました。また、ある生徒は講義の感想を「難しくはなかった。でも簡単でもない。」と話していました。地方創生やふるさと教育の推進が求められる現在、多くの高校で地域探究の取組が行われています。ただ他地区の地域活性化の成功例がそのまま小値賀に当てはまるわけではなく、小値賀らしい解決や改善の方法があるはず。これからは高校生の柔らかい発想と行動力が求められます。これまで島の宝として大切に育てられた高校生だからこそ、いつまでも“してもらえる”ことに甘んじることなく、これからは自分たちが大好きな小値賀のためにできることを考え、そして動かなければなりません。今の北松西の皆さんなら、必ずできると私は思っています。これからどんな動きになるのか、楽しみにしているところです。

10月の行事予定

日	曜	行事予定
1日	火	中間考査、人権教育
2日	水	1年ステキなパパママ未来体感事業
3日	木	キャリア教育講演会
4日	金	英語検定一次
10日	木	センター試験100日前集会
12日	土	校外模試3年 ～13日
15日	火	研究授業ウィークス ～25日
19日	土	バドミントン地区新人戦 ～20日 ソフトテニス県新人戦（佐世保）～21日
21日	月	心の教育講演会（後期）
27日	日	西高祭
28日	月	代休
31日	木	駅伝壮行式



— お知らせ —

- 第45回 西高祭 10月27日（日）9:00～15:00
 「創の一步 ～新たな時代に刻む～」
 皆様のご来場をお待ちしております。



☆ 高校受検枠の拡大についてお知らせいたします！ ☆

昨年度から、北松西高校への受検資格の要件が一部緩和されています。これまで、小値賀中学校からの受検が基本でしたが、保護者等が小値賀町在住であれば受検ができるようになりました。例えば

（ケース1）

現在島原の中学校に通っている。両親は島原から引っ越ししないが、小値賀在住の祖父母の家から北松西高校に通学したい。

（ケース2）

現在福岡の中学校に通学している。保護者は福岡からの転勤はしないが、小値賀在住の親戚の家から通って北松西高校で学びたい。

島外の中学生に「おぢかの教育」をお話いただき、北松西高校への受検を是非オススメください。詳細につきましては、高校教頭（松添）にお問い合わせください。

DV 防止講話

9月17日（火）視聴覚教室においてNPO 法人 DV 防止ながさき 大川内 紀美子 氏をお招きし「対等な関係をつくるために」の演題で講話をしていただきました。この講演は、DVによる事件が身近なところで起きており、一般社会に与える影響が大きい今日において、DVについての知識を深め、DVの根絶、及びDV被害を根絶する規範意識の向上を目指すことを目的としており、デートDVを中心に話をさせていただきました。生徒はDVについて深く考え、真剣に話を聞いていました。



令和元年度 第20回 小値賀中学校・北松西高等学校 合同体育祭

「 Never Give Up 」

9月8日(日)本校グラウンドにおいて、中高合同体育祭が開催されました。当日の朝までの雨で一部体育館での実施となりましたが、無事にすべてのプログラムを行うことができました。今年度は赤団、青団の2ブロックの構成で、夏休み前から装飾の準備をしたり、応援合戦の振りつけを考えて中学生に指導するなど各ブロックとも工夫して頑張る姿が見られました。練習期間中は雨が多く、グラウンドでの練習があまりできませんでしたが、本番では競技・応援ともに練習の成果が出ており中学生と共に協力し合い、とてもすばらしい体育祭になりました。保護者・地域の皆様、お忙しい中、多数のご来場ありがとうございました。成績は以下のとおりです。

◎総合の部：赤ブロック ○競技の部：赤ブロック ○チームワークの部：青ブロック

赤ブロック長： 平田 樹

今年は良い勝負ができ3点差という接戦で赤ブロックが優勝できてとても嬉しく思っています。赤ブロックが勝てた理由はブロック全員がしっかりと協力していたおかげだと思っています。練習から笑顔を忘れずにブロック全員が明るく取り組んでいたことで、そこから全員が協調し合えることができたと思っています。最後の体育祭で優勝という素晴らしい結果で終わったことに感謝しています。

優勝おめでとう！カンパ〜イ！！



赤ブロック

青ブロック団長： 護山 義孝

令和最初の体育祭で、団長という役職を務めさせていただき、とても光栄でした。応援など当日までに間に合うか不安でしたが、みんなのおかげで間に合わせる事ができ、チームワークの部で1位を取ることができました。本当にありがとうございました。猛暑や大雨などの影響で体育館練習ばかりでしたがとても楽しく、今までで一番最高の体育祭になりました。本当にありがとうございました。

Thank you blue !



青ブロック



赤ブロックの応援



大会プラカードの入場



国旗の入場



中高合同の選手宣誓



青ブロックの応援



Girls Power 2019



組体操



華麗？なる戦い



百足リレー



男子1000m走



サバイバルレース



Tug of War

編集後記 松のひとりごと・・・

2学期が始まりました。体育祭が終わり、少しずつ秋らしい気候となってきました。10月末には西高祭があります。次はクラスでの活動の中で自分自身を高められるよう頑張っていきましょう。

